



【お知らせ】

令和3年4月30日
統合幕僚監部

日米韓参謀総長級会議について

統合幕僚長山崎幸二陸将は、令和3年4月30日(金)(現地時間4月29日(木))、ハワイで開催された日米韓参謀総長級会議に参加し、米統合参謀本部議長ミリー陸軍大将及び韓国合同参謀本部議長ウォン空軍大将と、地域情勢や3か国協力など意見交換をしました。

離任するデービッドソン米インド太平洋軍司令官、着任するアクィリノ新米インド太平洋軍司令官、シュナイダー在日米軍司令官も同席し、エイブラムス在韓米軍司令官はテレビ会議により参加しました。

世界的な新型コロナウイルス感染症発生以降最初の日本、米国及び韓国の参謀総長級による対面での会議となりました。

3者は、北朝鮮の核・弾道ミサイル計画に関する懸念を共有するとともに、地域における、法の支配に基づく国際秩序の重要性について議論しました。山崎統幕長は、北朝鮮への対応について、関連する全ての国連安保理決議の完全な履行のため日米韓で連携することの重要性を強調しました。ミリー大将は、日本及び韓国と強固な関係を維持すること及び米軍が持つ能力のすべてのスペクトラム(範囲・領域)により拡大抑止を提供する準備があることについて、改めて言及しました。また、ウォン韓国合同参謀本部議長は、朝鮮半島と北東アジアの平和と安定のために、3か国による協力の重要性を強調しました。

3者は、地域の平和と安定のため、互いの安全保障に関する諸課題について話し合い、多国間協力を強化するために、共に取り組んでいくことについて合意しました。

